

船舶事故調査報告書

平成22年1月14日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年9月8日 15時00分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（石川県河北郡内灘町 ^{うちなだまちおおねぶ} 大根布の護岸付近で本船が発見された。）
事故調査の経過	平成21年9月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート 船名なし 未登録、個人所有 4.2m×1.4m×0.5m、FRP ガソリン機関、3.6kW、進水年月日不明
乗組員等に関する情報	船長 男性 74歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和53年8月25日 免許証交付日 平成20年2月27日 (平成25年4月24日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年9月8日（火）12時前、船長1人が乗り組み、石川県内灘町河北 ^{かほくがた} 瀨の中央付近で釣りえさ用のエビを捕るために、河北瀨南岸を出航した。 船長の家族は、帰宅が遅い船長を案じて探していたところ、15時00分ごろ、内灘町大根布の護岸付近で、主機が掛かった状態で釣り道具が残されたままの無人の本船を発見して警察署に通報した。 警察署及び消防局の捜索で、翌9日13時00分ごろ大根布沖の金沢港防潮水門付近で、救命胴衣を着用せずに、うつ伏せの状態で見つかる船長が発見され、のち溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東北東、風力 2、視程 20.0km
その他の事項	船長は、時々救命胴衣を着用していた。 船長は泳力があった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は、溺死であった。 船長は、救命胴衣を着用せずに落水したため、溺死した可能性があると考えられるが、落水した状況については、明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が河北潟において、船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	